企画展

チベット

ポン教の神がみ

2009年 4月23日[木]—7月21日[火] 国立民族学博物館

開館時間｜午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）　休館日｜毎週水曜日[ただし4月29日(水)・5月6日(水)は開館、4月30日(木)・5月7日(木)は休館]

主催／国立民族学博物館、財団法人千里文化財団

チベット ポン教の神がみ

企画展

ポン（Bon）教は中国のチベット自治区全域、四川省、甘粛省、青海省、雲南省からヒマラヤ南麓にまで広く分布している宗教で、仏教がチベットにもたらされ、政権と結びつく前まではその地域の主流をしめていました。土着的要素と密接な関連を保ちながら、独自の高度な教理体系を築きあげ、少数派ながらいまも宗教集団として生きつづけています。チベット仏教の哲学・儀礼の随所にポン教からの影響が認められます。また、古いポン教徒はシャンシュン語という未だその系統も文法も明らかにされていない言語をもちいていました。この言語はチベット文語の成立に重大な影響を及ぼしたはずであると推測されます。このように、ポン教はさまざまな面で、チベットの文化基盤を代表する宗教であり、その地域を理解するうえで不可欠の要素といえるでしょう。

本展示では、ポン教が築きあげてきた宗教的宇宙の構造の一部を図像資料によって紹介するとともに、ポン教の歴史や現代における分布、儀礼なども紹介します。これによってチベットの基層文化に関する理解を少しでも深めていただければ幸いです。

関連企画のご案内

◆第371回
国立民族学博物館友の会講演会
日時＝5月2日（土）
14時～15時（13時半開場）
演題＝チベットのヤングー儀礼
―幸運をよぶいのり
講師＝長野泰彦（民博教授）
場所＝国立民族学博物館
第5セミナー室
定員＝96名

◆第372回
国立民族学博物館友の会講演会
日時＝6月6日（土）
14時～15時半（13時半開場）
演題＝ポン教とチベット仏教
講師＝立川武蔵（愛知学院大学教授・民博名誉教授）
場所＝国立民族学博物館
第5セミナー室
定員＝96名

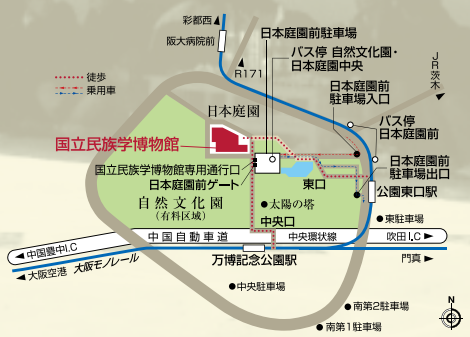
※参加についてのお問い合わせ
財団法人千里文化財団
「国立民族学博物館友の会」係
電話　06-6877-8893

国立民族学博物館

National Museum of Ethnology
“Minpaku”
TEL＝06-6876-2151（代）

国立民族学博物館（みんぱく）は、博物館をもった研究所です。常設展示は、世界を9つの地域に分けた地域展示と、音楽や言語などの通文化展示で構成されており、世界のさまざまな文化にふれることができます。また、特定のテーマや内容にそった企画展示や特別展も定期的に開催しております。

【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
【休 館 日】毎週水曜日（ただし、水曜日が祝日の場合は翌日が休館）
【観覧料金】一般420（350）円、高校・大学生250（200）円、小・中学生110（90）円
※（　）内は20名以上の団体料金、および大学等*の授業での利用、3ヶ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金（要証明書等）です。
（*大学等は、短大、大学、大学院、専修学校の専門課程）
※特別展の観覧料金はその都度、別に定めます。
※毎週土曜日は小学生・中学生・高校生は無料で観覧できます。ただし、自然文化園を通行される場合は、同園の入園料が別途必要です。
※障害者手帳をお持ちの方は付添者1名とともに、無料で観覧できます。
※5月5日は無料観覧日。



【交通案内】――● 大阪・千里万博記念公園内
◉大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車 徒歩約15分
◉阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車。徒歩約15分（茨木方面から、自然文化園・日本庭園中央経由のバスが、1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください。）
◉自家用車の場合は、万博記念公園「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分
◉タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。
「日本庭園前駐車場」を利用されるかたは、「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。